



グリーン交悠録



政界の伊達男。 100歳にしてゴルフを語る

元大蔵事務次官／元経済企画庁長官
元東京福祉大学学長／衆議院議員（9期）

相澤 英之 氏

本誌主幹 大中 吉一



どうせなら麻生太郎に
首相をやらせたい

大中 お生まれはいつでした

相澤 大正8年（1919年）7月4日）ですからちょうど100歳ですね。

大中 大台ですね。

相澤 そうなります。

大中 大正・昭和・平成の生き字引でいらつしやいます。

相澤 そんなことはないですが。

大中 相澤さんは大蔵省のご出身の政治家ですが最近の政界はいか

がですか。

相澤 情けないですね。いつそのこともういちど首相を麻生太郎にやらせたらどうかと思うくらいです。

大中 彼は良いです。健康状態は良し、気力・体力・知力・経験・血統：すべて安倍さん以上だと思っています。

相澤 ただ、麻生さんは安倍晋三さんに遠慮しすぎだと思えます。もう少ししっかりと意見を言わなければ。

大中 相澤さんのように、必要な時にはピンバシと言うべきことは言

われないといけません。牧野伸顕、吉田茂、佐藤栄作、宮沢喜一みんな親戚ですから：育ちが良いからでしょうか。

相澤 ちよつといい加減なところもありますがね。

大中 確か相澤さんが麻生さんに総理をやらせたらと発言して、雑誌の記事になつていました。

相澤 文藝春秋でした。そういう意味の取材ではなかったのですが、発言したら記事になつてしまいました。

大中 麻生さんも満更でもない感じですよ。相澤さんが政界を引退されたのはいつごろでしたか。

相澤 2003年ですから82歳の時です。

大中 その後、84歳で弁護士資格を取られました。どこまでも進化する姿は素晴らしいですね。

相澤 昔から物覚えは良い方でした。

大中 私たち凡人とはそこが違います。私などは何回も繰り返し覚えなないとすぐ記憶から消えてしまいます。

同期の人間に適わないと思う人はいないのではないですか。



夫婦長寿の100歳の知恵を網羅した司葉子夫人との対談集



相澤 そんなことはないですよ。素晴らしい方はたくさんいらっしゃいます。

大中 私などは常に見上げる一方で、いつか誰かを追い抜きたいと思いつながりながら成長していったような気がします。

特技はゴルフのみならず

大中 相澤さんはゴルフもお上手だったと記憶しています。麻生さんとも一緒にラウンドされていました。相澤 ええ何回も一緒にラウンドしました。彼はシングルでなかなかうまくいった。

大中 麻生さんはゴルフを始めたのが遅かったはずですよ。シングルになつたのはたしか総務大臣くらいでした。

相澤 そうですか。

大中 麻生さんは2回目の選挙の時に落選したのですが、その時に麻生飯塚ゴルフ倶楽部で「励ます会」をたつた1回しかやらなかったのです。

相澤 まだ中選挙区の時代です。

大中 ええ、ですから4万5000〜5万の得票数が必要でした。そ

れなのに5000人を集めて1回しかやらなかった。5回やつておけば2万5000人プラス家族親戚の票で当選できたはずですよ。

相澤 そういえば一度落選しました。

大中 呼ばれた人は良いですが、呼ばれなかった人は「麻生は私を呼ばなかった」となります。

相澤 なるほど。

大中 それで落選した時に、あの金丸信さんから「そろそろ君も党の仕事をしてくれ。麻雀をやるのか、ゴルフをやるのかどちらかにしなさい」と言われたのです。

相澤 それでゴルフを選んだのですね。

大中 それで当時、麻生飯塚ゴルフ倶楽部に居た藤井さんというプロに初ラウンドで50を切りたいと言ったそうです。

相澤 大きく出ましたね。

大中 そうしたらプロに「練習場で2万発打つてからコースに出なさい」と言われ、麻生さんはなんとそれを実践したそうです。

相澤 それはすごいですね。

大中 それで初ラウンドは午前中

50、午後49というスコアだったそうです。

相澤 まあ、麻生さんらしいといえそうですね。

大中 麻生さんは何かあると自筆で手書きのお礼状を出すことで知られています。生真面目で誠実な人です。

相澤 そう思います。

初ラウンドで50

大中 相澤さんは初めてラウンドされたのはどちらですか。

相澤 滋賀県の瀬田ゴルフコースでした。スポーツは陸上競技を始めいろいろやっていましたが、止まっている球を打つのですから大したことはないと思っていいたら、これが面白かった。

大中 30歳ぐらいの時ですか。

相澤 初めてやったのですがスコアが50台でした。

大中 それはすごいですね。

相澤 スコアもどんどん良くなるし、それからすっかり楽しくなりました。

大中 近畿財務局長になられたのはその後でしたか。

相澤 はい、それで毎週土日はラウンドしていました。

大中 当時の任期は1年ですね。

相澤 ですから、その1年で120ラウンドはしました。

大中 関西にも多くのコースがありますが、思い出に残っているのはどこですか。

相澤 廣野ゴルフ倶楽部ですね。叩いても仕方がないと思わせてくれるコースです。

大中 同感です。いつ行つても素晴らしいコースです。

相澤 廣野ゴルフ倶楽部の社長だった乾豊彦さんは「ゴルフを止めるくらいなら社長を辞める」とおっしゃっていました。

大中 名言ですね。

相澤 あの頃の人はゴルフにも哲学があつたように思います。

大中 たかが1打されど1打です。

相澤 多くの皆さんとご一緒しましたが、昔のゴルフファーは気骨があつたというか、とてもラウンドすることを大切にしていました。

大中 同感です。今日はどうもありがとうございました。

(次号に続く)